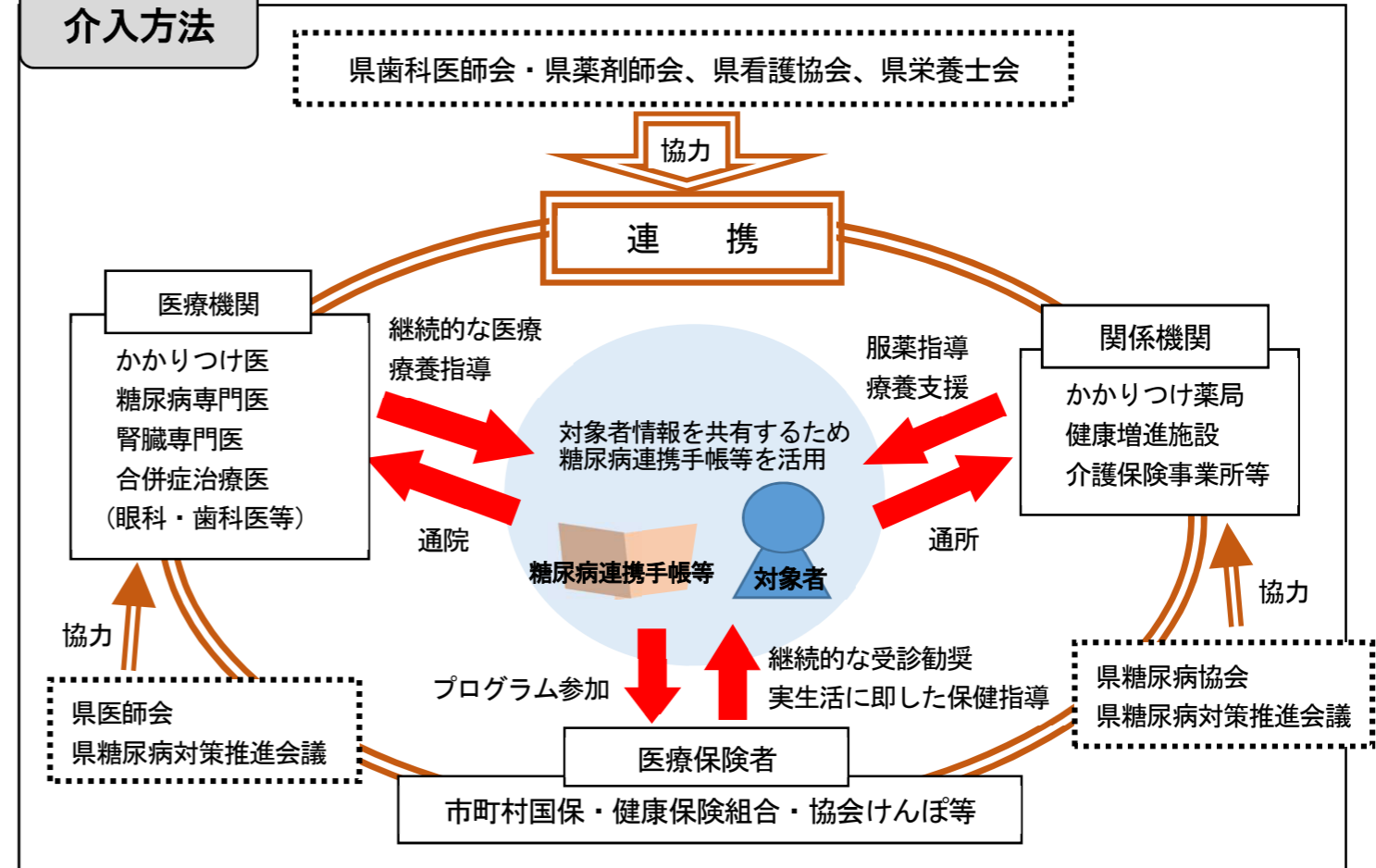


【目的】糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクがある、糖尿病未治療者・健診未受診者・治療中断者・糖尿病による通院中で重症化リスクの高い者等に対して、継続受診を勧奨すると併せて適切な保健指導を行うことにより、人工透析への移行を防止することで、住民や被保険者の健康増進と医療費の適正化を図ることを目的とする。
 【性格】本プログラムは、県内の各医療保険者が医療機関等と連携して重症化予防に取り組むための考え方や標準的な内容を示すものであるため、各保険者における取組内容については、実情に応じて柔軟に対応することが可能であり、現在各医療保険者が既に行っている取組を尊重するものである。

本プログラムが推奨する対象者の抽出基準

- ◆「75歳未満の者を対象とする際の抽出基準」
 - (1) 健診受診者（2型糖尿病未治療者・治療中断者）【フロー図1】
 - 空腹時血糖 126mg/dl（随時血糖値 200mg/dl）以上、又は HbA1c 6.5%以上かつ次のいずれか
 - ① 尿蛋白（±）以上
 - ② 血清クレアチニン検査を行っている場合
 - ア. eGFR 60ml/分/1.73m²未満（70歳以上：eGFR 50ml/分/1.73m²未満）
 - イ. eGFR 60ml/分/1.73m²以上（70歳以上：eGFR 50ml/分/1.73m²以上）であっても eGFR 低下 5ml/分/1.73m²/年、もしくは eGFR の低下率 25%/年以上
 - (2) 治療中断者・健診未受診者【フロー図2】
 - 過去に一度でも糖尿病の治療歴がある、又は過去3年程度の健診にて空腹時血糖値 126mg/dl（随時血糖値 200mg/dl）以上又は HbA1c 6.5%以上が確認されているものの、最近1年間の健診受診歴や糖尿病の受療歴がない者等、その他のイベントで治療中断が判明した者
 - (3) 2型糖尿病で治療中の者【フロー図3】
 - ① 2型糖尿病の治療中であるものの健診にて（1）の基準に該当する者
 - ② 2型糖尿病治療中の者で、尿アルブミン（微量アルブミン 30mg/gCr 以上）、尿蛋白（±）以上、eGFR（60ml/分/1.73m²未満）等、糖尿病性腎症第2期以上の腎機能低下が判明し保健指導が必要であると医師が判断した者
- ◆「75歳以上の後期高齢者における留意事項」
 - 包括的な対応を要するため、暫定的に HbA1c ≥ 8.0%かつ尿蛋白（+）以上の者

介入方法



連携体制

